

1. 施設概要

本施設は、契約市町村と特定健診及びがん検診を含んだ複合健診、完全セット型の複合健診やJA役職員を中心に実施している職域健診などの「巡回健診」と人間ドックを中心とした「施設健診」、「特定保健指導」を実施しています。

2. 力を入れて取り組んでいる事

精度管理には積極的に取り組んでいます。

また、巡回健診では受診者の確保対策として、完全セット型の複合健診の実施及び推進、事業所健診の拡充に取り組み、施設健診ではJAの青壮年部（担い手）の受診啓発と胃内視鏡検査の拡充、特定保健指導では遠隔による保健指導の拡充に取り組んでいます。

3. コロナの状況になり工夫したこと、現在の状況下での課題

新型コロナウイルス感染症対策として、「3密」を避け受診環境の確保に努めました。

受診者のマスク着用、手指消毒、間隔を空けることの徹底と、スタッフはマスクとフェイスシールドを着用し、受付や問診、血圧、採血など受診者と対面になるポジションでは、アクリル板や透明ビニールでの遮蔽を行いました。

また、1時間に1回の換気と、検査機器や机、椅子などを次亜塩素酸水で消毒を行いました。

さらに、心電図や内科診察、超音波検査では、今まで使用していた布タイプの布団や枕を、バスマットタイプの敷物とビニールタイプの枕に変えることで、受診者毎に次亜塩素酸水で消毒を行えるようにし、今後も継続する予定です。

4. 今後の課題

再雇用制度が進み、国保加入者が減少している事や、2025年問題で特定健診の受診者が減少することが懸念されており、今後はJAの関連事業所の健診受託確保に向けた推進が必要であると感じております。

現在、指導関係ではJAの役職員において、対象者全員の特定保健指導ができていない状況なので、今後は対象者全員に特定保健指導ができるよう、遠隔による保健指導を充実させていきたいと考えております。

また、R5年度から新健診システムに移行するため、現在は最終調整を行っている所ですが、年度当初より正常に稼働できるよう、職員に対する研修と事前リハーサルを重ねております。